

【No. 1】 ジュエリーショップに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 非日常のファッション小物としての宝飾店から、ブランド・ジュエリー店やアクセサリー店など多様な形式に進化している
2. 宝飾店、ブランド・ジュエリー店、アクセサリー店のいずれなのかを明確にしたうえで設計を始める
3. 照明は 3000～3500 ケルビンを複数使いつつ、4500 ケルビンをシルバーリングなどにあててシャープな陰影をつける
4. ワークスペースはレジ、サービス部分から離し接客に支障のないようにする

答. 4

【No. 2】 薬局薬店の店舗経営形態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 病院やクリニックの前面で開局する薬局の事を点分業型調剤薬局という
2. 特定患者を対象に、薬剤師の服薬指導、健康管理相談を行う薬局を面分業型薬局という
3. 集客性の高い場所に開設するケースは調剤薬局と物販販売併設型にすると効果的である
4. 近年、ドラッグストア内に調剤薬局を併設するタイプの店舗展開が増えている

答. 2

【No. 3】 ベーカリーショップに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. スーパーマーケットなどのインストアベーカリーは洋菓子エリアに配置されることが多い
2. 店頭ゾーンでは、ボリューム感の演出や客の取りやすさを考えて平陳列にすることが多い
3. イートイン客席を併設する店が増える傾向にある
4. 厨房は生地乾燥を避けるために、エアコンや吸気口の位置をパン生地への影響が無いように配置しなければならない

答. 1

【No. 4】洋菓子店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 名店街、のれん街などのケース販売を主体とした店は、POP 演出やディスプレイが非常に重要である
2. 専門店として構える店は、対面販売に限られる
3. フリースタンドイングの専門店は工場併設店舗が主流である
4. 生産と加工そして販売までの施設を備えた店舗も多くみられる

答. 2

【No. 5】和食店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 和食店に限らず接客のためのオペレーションは大事である
2. 規模が大きい店の場合、従業員の動きは、役割分担によって決まるのでゾーンを分けず重複しないようにする
3. 小さな店舗は機能が重複し、面積も限りがあることから、ゾーンが複雑になる店が多い
4. カウンター席は、調理する作業が見え、板前と会話しながら味を楽しめるメリットがある

答. 2

【No. 6】寿司店のカウンターに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 寿司を握るのは、一種のパフォーマンスでもあり、会話を重んじるため板前と客との距離があまり遠くならないようにする
2. テーブル席や個室がある場合、カウンターで握った寿司を運ばなければいけないのでカウンターで食べる客スペースの間を必ず空けておく
3. ゆったりと寿司を食べてもらうには、ハイカウンターは向かず、設備上の理由はあるがなるべく低いカウンターで召し上がってもらうのが望ましい
4. 配膳部分のカウンターは、客の邪魔にならないように考えなければならないが、動線が複雑になるため、客動線と従業員動線が重ならないように計画する

答. 2

【No. 7】 中華料理店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 店の面積と客席数により、おおよその厨房面積が決まる
2. 一般席のサービス動線は、一巡して廻れる動線が良い
3. パントリーから、一般席および宴会席のサービス動線は、なるべくロスを減らす動線にする
4. 取り皿の出し下げが頻繁なため一般席にはどの席からもほぼ同じ距離にサービスステーションを設けるとよい

答. 3

【No. 8】 近年、低迷を続ける百貨店の要因として、考えられる次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 80年代以降に登場した「カテゴリーキラー」は、百貨店の売上げに影響を及ぼした
2. ファッション、家電、家具に見られる専門大店の登場は、百貨店の売上げに影響を及ぼした
3. インターネット通販の普及は、百貨店の売上げに影響を及ぼした
4. 顧客層の視点では、高額品等を購入する壮年層の利用減少は、百貨店の売上げに影響を及ぼした

答. 4

【No. 9】 ショッピングセンターの類似業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. アウトレットモールは、在庫処分を目的に売れ残り商品を大量に仕入れ、安売りする店が集積したモールである
2. ライフスタイルセンターは、1990年代頃からアメリカで登場した業態である
3. ライフスタイルセンターは、核店舗を置き複数の有力店舗を配置した商店街スタイルである

4. パワーセンターとは、カテゴリーキラーと呼ばれる大型ディスカウント型の専門店を集積したショッピングセンターである

答. 3

【No.10】「道の駅」に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 道の駅の数、2016年(平成28年)10月現在、全国で2,017駅が登録されている
2. 道の駅の目的の一つとして、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供がある
3. 道の駅の機能の一つとして、24時間無料で利用できる駐車場とトイレがある、休憩機能がある
4. 道の駅は地域連携機能として、文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設がある

答. 1

【No.11】博覧会・博物館に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ミュージアムショップは購買意欲を高めるため、出口付近に設置するよう計画する
2. 平成17年の文部科学省の統計によると、わが国の「登録博物館」は、博物館全体の6割である
3. 2025年の国際博覧会開催国に立候補している日本の開催地は大阪である
4. 世界最初の国際博覧会が催されたクリスタルパレスはジョセフ・パクトンの設計である

答. 2

【No.12】クリニックに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. クリニックのゾーニングでは、受付と会計を同一カウンターとする場合が多い
2. 病床があっても、19床以下ならクリニックである

3. クリニック内の換気、給気は十分に取り、空調設備は容量として 370w/m²は必要である
4. クリニック内に必ず薬局を併設する必要がある

答. 4

【No.13】 店舗の調査分析に関する次の記述うち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設の規模によって調査範囲が異なり、大規模店(1000 m²以上)では概ね 10km 圏が対象となる
2. 住民特性の把握には人口統計などのデモグラフィックなデータと、統計データではとれない定性的なデータを把握する必要がある
3. 1000 m²以上の物販面積を持つ店舗は、出店候補地店前の通行量を調査することが義務づけられている
4. 競合店分析には面積、売上、客数、駐車台数などの定量調査と店の雰囲気、接客レベルなどの定性調査の両方が必要となる場合が多い

答. 1

【No.14】 大規模店舗に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大規模店舗とは物販の店舗面積が 1000 m²を超えるものを言うが、複数のテナントがある場合、共通の通路は含まないで計算する
2. 大規模店舗には大きく分類して、大型専門店、専門大店、百貨店、ショッピングセンター、複合商業施設の 5 つとなっている
3. 複合商業施設では、近年飲食比率やサービス・アミューズメント施設が拡大され、飲食は 25～30%以上のところが多くなっている
4. 大規模店舗のリニューアルでは、テナントの投資回収を考慮し、5～6 年として、テナントとの契約も定期借家の場合 5～6 年に合わせる場合が多い

答. 1

【No.15】 売上予測に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 売上予測の基本は、売上＝客数×平均客単価×営業日数である
2. 単純計算法における回転率法は、飲食店で多く使われ、売上＝客席数×回転率×平均客単価×営業時間となっている
3. 市場シェア率法のトップダウン法は、売上＝市場規模×(獲得目標の)市場シェアとなる
4. 重回帰分析は、Excelを使った試算が便利であるが、基本式(回帰式)は、理論売上＝(要因A×係数A)＋(要因B×係数B)…＋定数項である

答. 2
